

『図案表現』問題用紙

（制限時間 180 分）

（平成 30 年 6 月 17 日実施）

〈テーマ〉 大型旅客船が寄航する港に隣接した店舗

1. 周辺環境

- 1) 地方都市にあるこの港は、インバウンド（訪日外国人旅行）の収益を見込んでいる。
- 2) 築 50 年を経過した 2 階建ての「事務所兼倉庫」を改修し、その 1 階を店舗として再利用する。
- 3) 港と計画店舗の間には、住民の憩いの場となる公園があり、この店舗は地元住民も利用できる。

2. 設計対象範囲及び条件

- 1) 集客と魅力で地域に受け入れられる店舗を目指し、周辺環境に馴染んだ計画とし、業種業態は「物品販売施設」または「飲食サービス施設」、あるいはそれらの複合施設とする。
- 2) 計画建物内の計画店舗を設計し、主要室の面積を記入する。
- 3) 計画店舗の選定業種は、1 業種もしくは 2 業種の店舗としてもよいが、導入口（店舗入口）は一箇所とする。なお、来客用の駐車場は設けていない。
- 4) 具体的な業種を決め、所定の欄（答案用紙②）に業種名を記述し、設計主旨欄にその主旨及び店舗のネーミングを記述する。
（例）業種名：“レストラン”、“物販店(おみやげ店)&ベーカリーカフェ” など
ネーミング：“シーサイドレストラン Blue”、“Shop YOKOSO!” など
- 5) 必要な関係法令（建築基準法・消防法・食品衛生法等）を基本として計画する。
- 6) 入り口、スロープ（バリアフリーを考慮）等、形態は自由とする。ストックヤード、事務室、トイレ、陳列ケース、棚類、レジカウンター等、その他必要に応じ計画する。

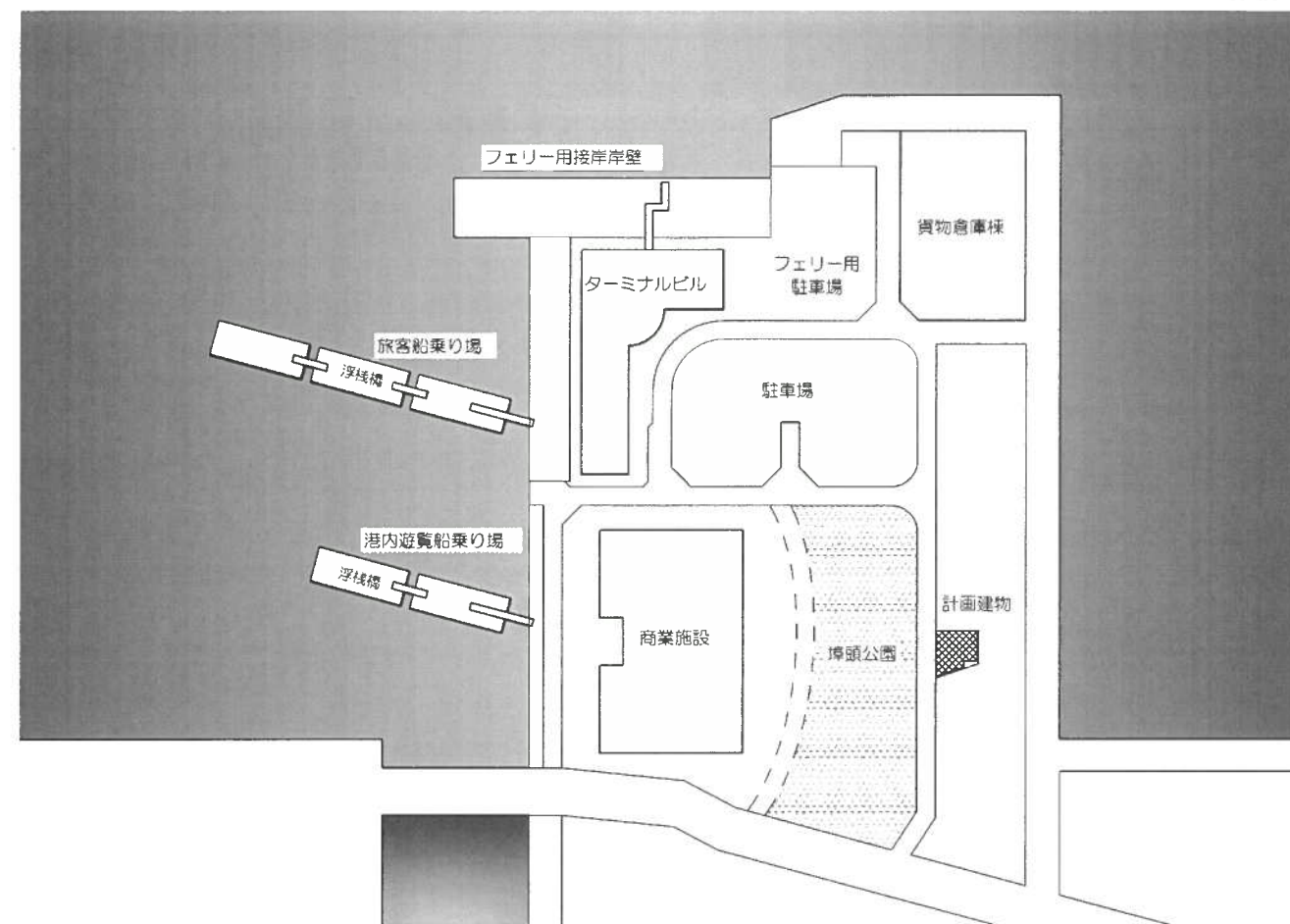
3. 設計図書

設計図書	特記事項
設計主旨	200 字程度で、1 業種もしくは 2 業種それぞれを選定した主旨を含め具体的にかつ簡潔に記述する
平面図	縮尺 1：100、黒鉛筆を用い（フリーハンド可）、答案用紙の所定の位置に作図する面積、家具、仕上、寸法（単位：ミリメートル）等を記入
透視図 （イメージパース）	内観パースまたは外観パースとする（フリーハンド可） 着色は色鉛筆またはマーカー

試験地	受験番号	氏名
1. 札幌 2. 仙台 3. 東京 4. 名古屋 5. 大阪 6. 広島 7. 福岡		

《《 この問題用紙は、計算・メモ等に使用しても差しつかえありませんが、持ち帰ることはできません 》》

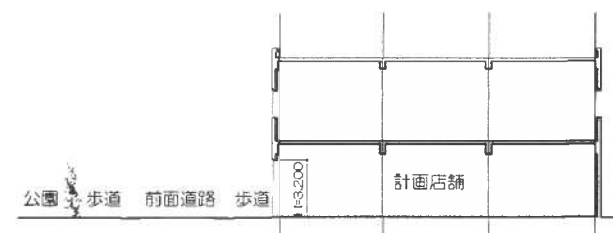
配置図 縮尺 1：3000



計画建物平面図 縮尺 1：400

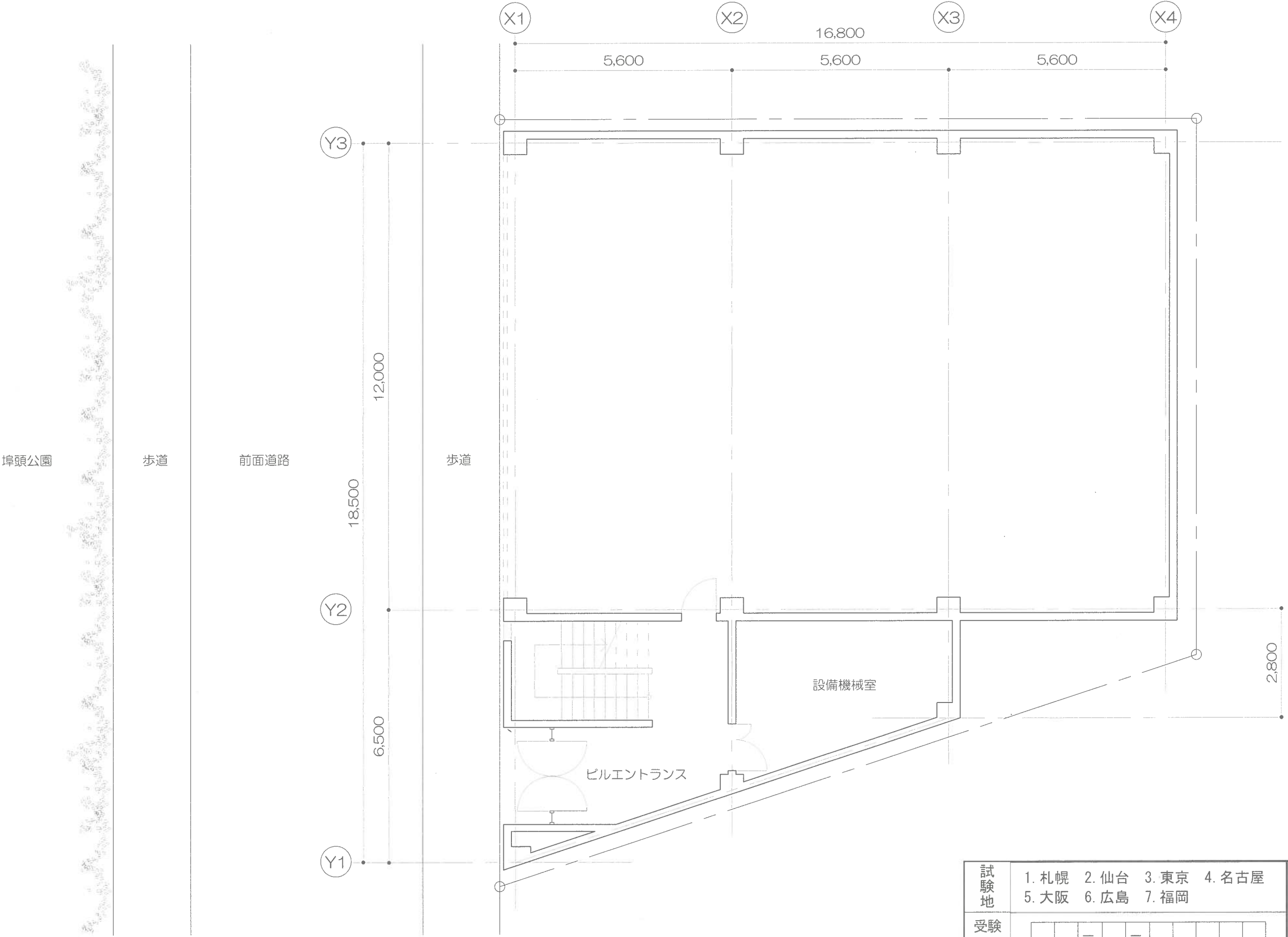


計画建物断面図 縮尺 1：400



街並みイメージ写真





設計対象平面図 縮尺1：100

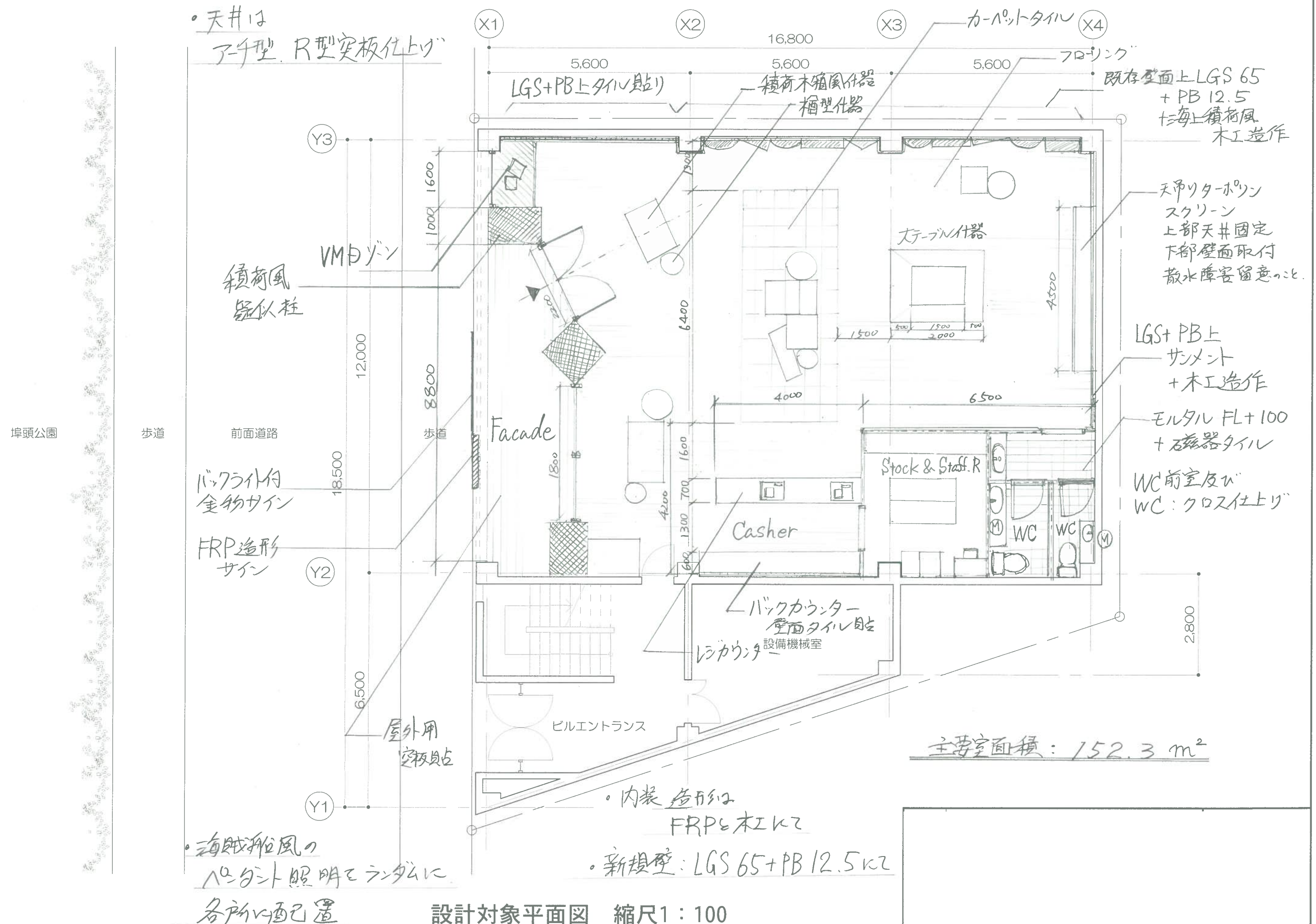
試験地	1. 札幌 2. 仙台 3. 東京 4. 名古屋 5. 大阪 6. 広島 7. 福岡
受験番号	-
氏名	

(注意) 「問題用紙」・「答案用紙①」・「答案用紙②」、すべてに受験番号・氏名等を必ず記入してください。試験終了の際に、すべての用紙を回収いたします。

透 視 図 (イメージパース)

設計主旨 (200 字程度)																				業種名											
																				店舗名											
																				受験番号											
																				氏名											

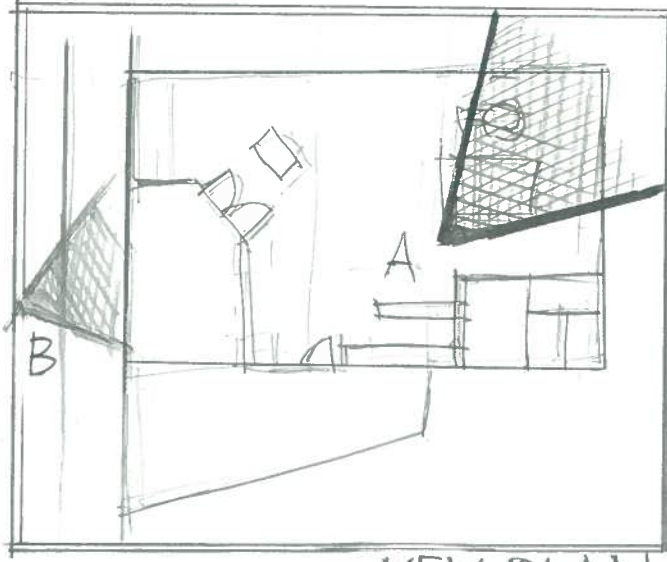
平成30年度 商業施設士 資格試験・構想表現(実技)試験 『図案表現』 答案用紙 ①





CAMERA A

透視図 (イメージパース)



KEY PLAN



FACADE B

設計主旨 (200 字程度)

昨今、インバウンドが日本に求めるものは「COOL JAPAN」である。特にアニメ・特撮作品といったキャラクターものの人気は国を問わず人気が高い。そこで帰り便の出航待ちを待つ外国人をターゲットにした物品販売施設を計画した。内装は、「帰り際の宝探し」、「わくわくする船旅」をテーマに船荷を大量に積み込んだ海賊船をイメージするものとした。一か所のみは一周を回る船線計画をし、店内奥には、アンカー演出として映像投映の大きなターボソンを配置している。

業種名	物販店 (キャラクター等)
店舗名	PIRATE JAPAN

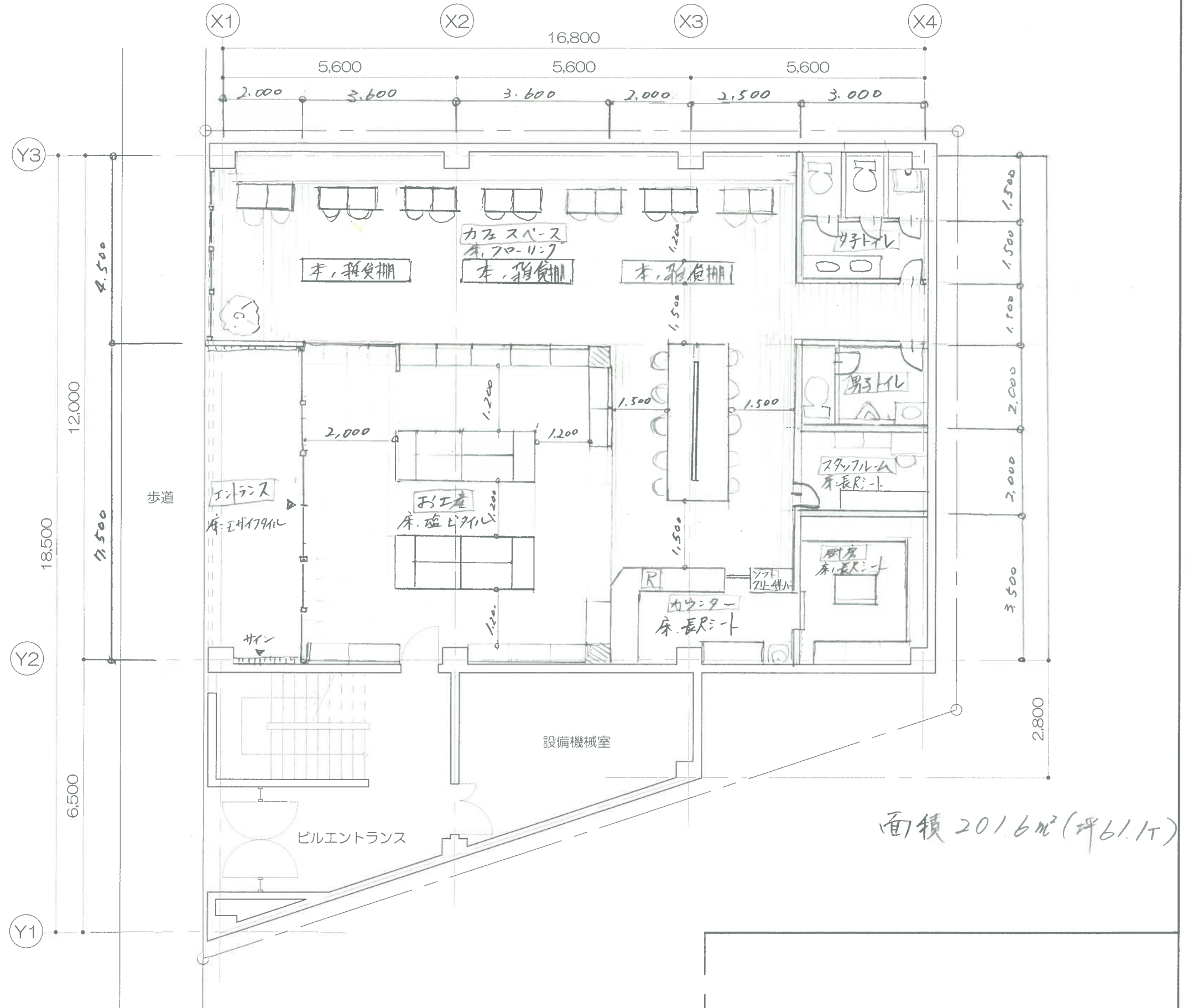
平成30年度 商業施設士 資格試験・構想表現(実技)試験 『図案表現』 答案用紙 ①

埠頭公園

歩道

前面道路

歩道



面積 2016㎡ (坪 61.15)

設計対象平面図 縮尺1:100

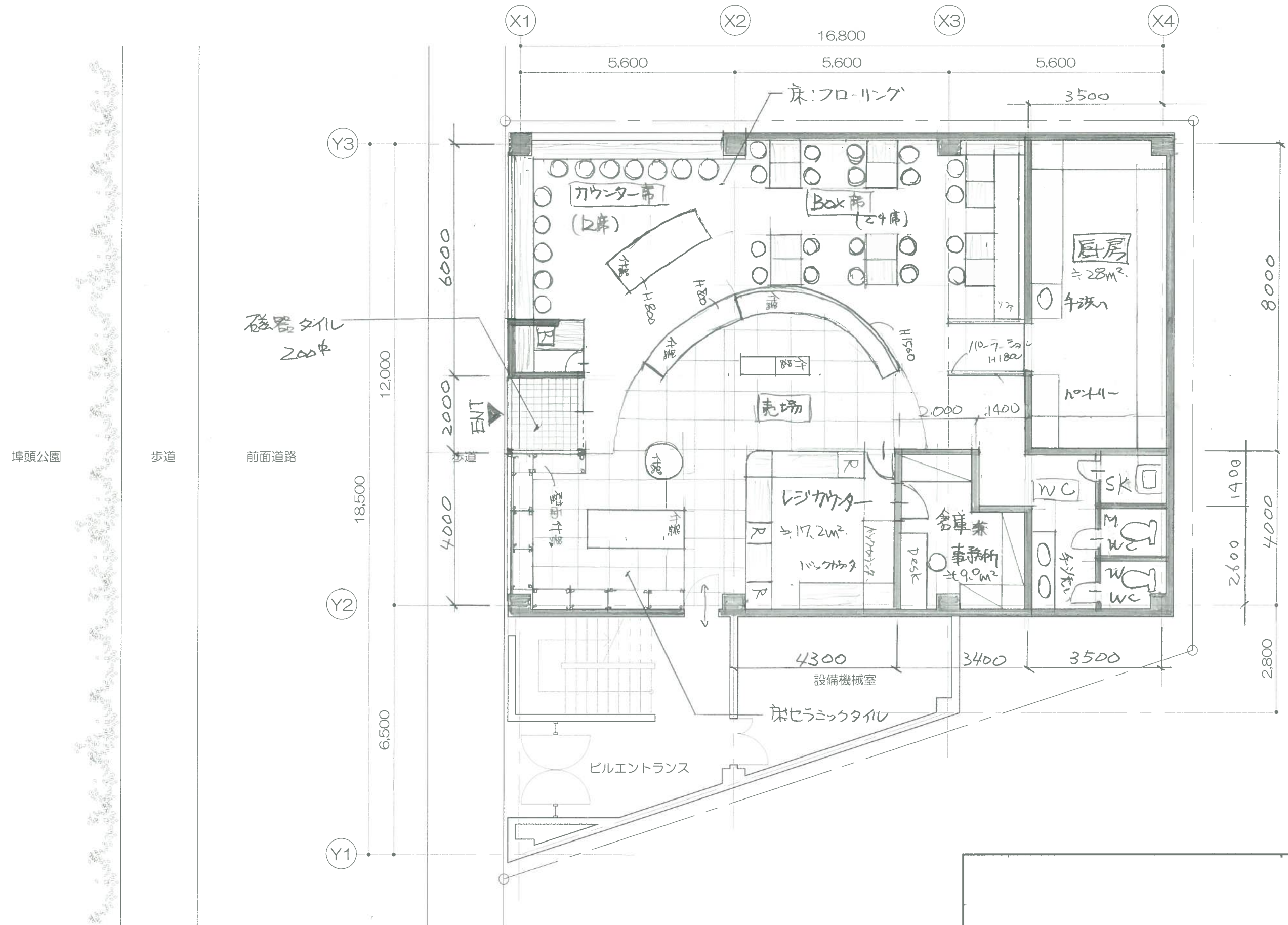


透視図 (イメージパース)

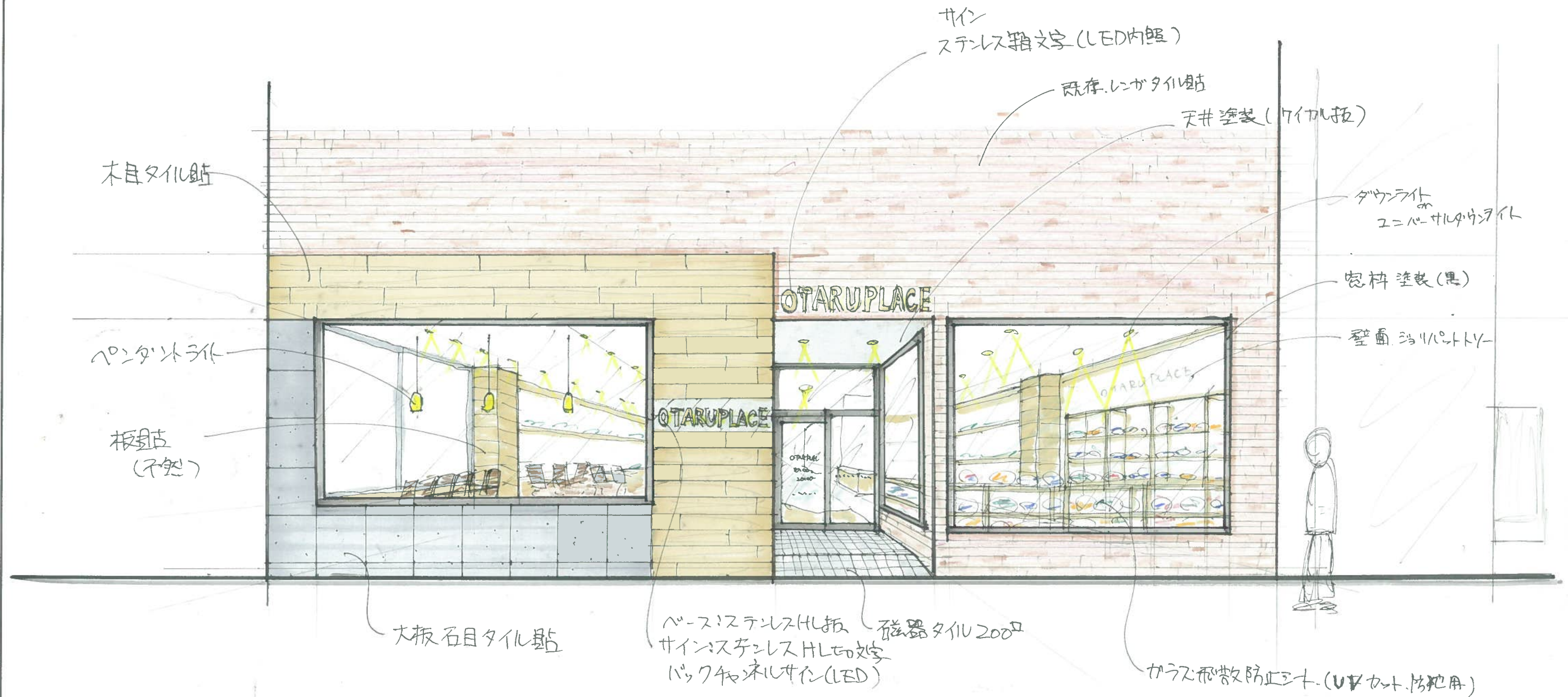
設計主旨 (200 字程度)

私が提案するこの店舗は、外国人旅行者が土産を買える土産店とちょっとレタな休憩が出来るカフェコーナーを合えた店舗となります。カフェでは、ソフトクリームも販売しており、地域住民が気軽に軽食や休憩出来る様に考えています。店内には、本や雑誌がディスプレイあり、正面にガラスをふんだんに使用する事でおしゃれな店内が見える様にしています。外構、内装には、海の青のイメージを使用しています。地域住民の収えきも見込んでいます。

業種名	お土産 + カフェ
店舗名	SEA SIDE CAFE



設計対象平面図 縮尺1：100



透視図 (イメージパース)

設計主旨 (200 字程度)

この店舗は訪日外国人、観光客をメインターゲットに、地元の住民も気軽に利用できるようにお土産店と地元名産のスイーツ、軽食等を提供するカフェが併設された店舗です。ファサード面の開口を大きくとり、お土産店とカフェの併設を外部から認識できるようにし、訴求感を高めます。外装・内装は築50年経過した建物の良さを活かしつつ、現代のトレンドも取り入れたデザインを意識して考えました。レイアウトはお土産店とカフェを融合し、分け隔てのない客動線になるようにしました。

業種名	おみやげ店&カフェ
店舗名	OTARU PLACE